

祝 第66回 入学式・始業式を終えて.. 新たな出会いと出発!

青空に映える満開の桜に迎えられた145名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。そして、132名の2年生、112名の3年生のみなさんには、進級おめでとうございます。

多くの保護者に見守られ、PTA会長 杉浦丈峰様のご臨席を賜る中、第66回入学式並びに、第1学期の始業式を行うことができました。新年度を無事に迎えられたことに、感謝の思いでいっぱいです。



校長 式辞より

今の胸の高鳴り、「今年は頑張るぞ。」という気持ちを大切に、この中学校生活を送ってください。「さわやか明中生」を



めざし、生徒会が中心になって、「われらは明中生」1、明中生は、親しみと、まごころのこもったあいさつをしよう。2、明中生は、中学生らしい身なりと、ふるまいをしよう。3、明中生は、お互いに協力と理解に努め、いつも思いやりの心で行動しよう。4、明中生は、正しく判断し、積極的に行動しよう。の実践に努めていることを紹介し、中学校での生活のあり方を示唆されました。また、自分で正しく判断し、行動することや、苦しい時は自分が成長していると考え、にっこりして努力すること、簡単にスチッチオフすることができない人間関係では、相手を思い遣る話し方を考えることが大切であると中学校生活への指針を述べられました。

保護者に向けては、「手をかけるよりも目をかけよ。」という言葉が引用され、心身ともに大きく成長するこの時期、常にお子様の心の動きや考え方を十分理解し、心情的に寄りそいながら、お子様の成長をご支援お願いしたいと結ばれました。

PTA会長 杉浦丈峰様 祝辞より

厳しいこと、辛いこと、迷うこともあるでしょう。その反面、喜びや充実感を得られることも多いのが中学校の3年間ですと、ご自身の体験から熱く語り、諭されました。続いて、大人になった自分の姿を想像したことはありますか。まるで別人のようになっていませんかと問いかけられました。そんなことはないはずですね。小学校を入学したときの皆さんと、今の皆さんはつながっているはずですね。同じように、将来のみなさんと、今の皆さんはつながっています。「将来」とは、「今、今、今の連続線上にあるのです。」決して、途切れることなく、つながっているのです。ですから、「今」何をなすのが、将来の自分を決めているのです。大切な3年間の「今」を積み重ねていってくださいと激励されました。



保護者には、中学生は非常に多感な時期であり、心も体も大きく成長する時期です。厳しい競争社会ではありますが、他人を思い遣ることを忘れずに、心を豊かにすることを忘れないでください。家庭と学校、地域が一体となって、子どもたちの成長を見守りましょうと締めくくられました。

歓迎のことばより 生徒会長

みなさんが、私たちの新しい後輩として、明祥中学校に入学したことをうれしく思います。困ったことがあったら、いつでも先輩を頼りにしてください。

中学校は、いろいろなことに挑戦し、自分の力を高めるところです。明祥中の伝統であるあいさつをしっかりとしましょう。あいさつをすると、一日をさわやかに過ごすことができ、友達も増えます。先生や先輩に、遠慮なく、すすんであいさつができる、さわやか明中生を目指しましょう。

この後、2、3年生による「絆」の合唱で、入学を祝福しました。



新入生代表のことばより

僕たちは、これまで誰かに指示されて行動することが多く、毎日の生活でも、決められたことを何気なくしていたように思います。しかし、中学生になった今日からは、すべきことの意味を考え、自分の考えで行動することができるようにしたいと思います。

そして、仲間と協力し、毎日を楽しく充実したものにしますと力強く、決意を述べました。

